
暇潰し

御神楽

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

暇潰し

【Nコード】

N2578BA

【作者名】

御神楽

【あらすじ】

自作短編小説です。他サイトにも投稿しております。

私は人を殺そうと思う。

沢山の人を殺そうと思う。

大勢の人間を殺そうと思う。

たった一人の私が・・・、不特定多数の人間を殺そうと思う。

凶器なんてない。凶器なんていらぬ。狂気なんてない。狂気なんていらぬ。

人を殺すのに凶器も狂気も必要ない。必要なのはやる気だけだ。

周囲に居る人間を殺すのなんて容易なことだ。やり方なんて、方法なんて、様式なんていくらでも思いつく。

例えば、そう。相手が友人なら「目を瞑れ」とお願いして、道路に突き出せばいい。相手が家族なら就寝中に火を放てばいい。

相手が他人なら・・・？相手が会った事も見た事もない他人ならば・・・？さて、どう殺す？

すれ違った時にナイフで刺すか？いや・・・、それでは凶器が必要だ。

車で轢き殺すか？いや・・・、それでは狂気が必要だ。

自分の手を汚すのは論外だ。とてもじゃないが上手いやり方とはいえない。

なにより大勢を殺すとなれば、数える間もなく疲れてしまう。狂ってしまう。

それではダメだ。それではイヤだ。それではイケナイ。

私は、私のまま、私そのもので殺したいのだ。壊れず、狂わず、歪まずに。

だから考えた。 考える必要はなかった。

そのようなもの、考えるまでもなく、私は知っている。

数多ある選択肢の一つとして私は選択した。

電車というモノがある。乗り物だ。沢山の、大勢の人間を運搬する乗り物だ。日と時間で乗客数が増減する乗り物だ。

特に朝、そして夕方。その時刻の電車ははちきれんばかりに人が乗る。まるで物資のように。家畜のように。空気のように。

パンパンに詰められた人間を運ぶ乗り物。早く、速く、脆い。レールの上しか走れない。進めない。滑稽な乗り物。

それを、もしも、レールの上から解放したならば……。パンパンに膨らんだ風船が割れるように、弾けるように。人が死ぬ。

一両でもレールから外してしまえば、他の両も連鎖するように次々と倒れ、弾け割れる。そう、例えるならばよぶよぶのように。

またはボンバーマンのように……。そうボンバーマンだ。火力最大、爆弾設置数無制限のボンバーマンみたいなものだ。

私がやるうとしてしていることは、そういうことだ。

脱線させるのなんて簡単。凶器も狂気も不要だ。

それならば手は汚れない。私は壊れない。狂わない。歪まない。

私はその様を特等席で傍観していればいい。ただ、その後は社会的に死ぬだけだ。

一度、起爆した爆弾は止まらない。爆発が爆発を生み、また爆発が爆発を産む。いずれ私は逃げ場を失い、死んでいく。

私は、私自身が発生させた爆弾によって死ぬ。社会的に。あるいは物理的に。

悪くはない。生きる事に意味を求めるのが人間なら、死に対してもそう在るべきだ。

生きる事と死ぬ事が同義とは思わないけれど。すくなくともこの二つは似た者同士なのだから。

鏡面を挟んだように正反対なそっくりさんなのだから。1と0のよ
うなものなのだから。 だから・・・。

自分によって死を得られるなら、死を手繰り寄せられるなら、私は
ぜんぜん本望である。

悪くない。けれど良くもない。望むけれど。願わない。・・・曖昧。
臃げ。朦朧とした本心。

私はなぜ、人を殺そうと、しているのだっただろうか。

疑問が浮かぶ。 疑問が沈む。

来訪するのは虚無感。 虚脱感。 いやいや、虚なんてありはしない。

無感に脱感。 空腹に似た、欲求。 食べても食べても無くなって、脱
げていく。

この世界は酷く退屈だ。なにもない。なんでもあるから、なにもない。いらぬものしかない。

不要なもので溢れて。必要なものなど、どこを見てもありはしない。圧倒的なまでに、絶倒的なまではない。

足りていない。世界において必要なものが足りない。ない、ない、ない。なにひとつ、肝心なものが、抜けている。

この世界には不思議が無い。怪異が脱走したかのような。テレビを見れば溢れている不思議が無い。怪異がない。変化が無い。個性が無い。物語が無い。

超能力者も、幽霊も、妖怪も、魔法使いも、魔術師も、魔導師も、吸血鬼も、天使も、悪魔も、英雄も、聖女も、神も、宇宙人も、異世界人も、なにもかもがない。

世界におけるファクターがない。普通しかない。日常しかない。そ

れはつまり、なにもない。

だから私はアクションを起こす。なにもない。なにもおきないこの世界で、たった一人の反抗だ。反逆だ。反乱だ。

私が、私だけが、この世界におけるキャラクターなのであるならば。それによって変わるかもしれない。動き出すかもしれない。

私の世界が。私の物語が。私の全てが。もし、変わらず、動かず、騒ぎもしないなら。それでも始まらないなら……。

始まらないなら……？始まらなければ、どうだというのだ。始まらないなら、私はただ死ぬより先に、消えるだけ。それだけだ。

私の視界が電車を捉えた。

脱線するまで、あと二秒・・・。

それでは皆さん、さようなら

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2578ba/>

暇潰し

2012年1月6日16時48分発行